

2025
1



こどものイベント

「ゾートロープをつくろう！」

- 開催日時：2025年1月25日(土) 13:00～15:30
- 講師：三木 盛頭 先生
- 参加者：こども19名、保護者18名
- 対象：小学3年生～高校生
- 場所：アトリエ2

■1 オリエンテーション

みんなで挨拶をしたあと、講師の三木先生よりゾートロープについてのお話がありました。「ゾートロープは今から190年前に発明された科学玩具で、アニメーションの起源と言われています。今日は装置を作るところから始め、その後みんなが描いた絵を動かしてみよう」

自分の描いた絵が動くって楽しそう！けど少し難しそう・・・？でも大丈夫！今日はスタッフも沢山いて、サポート体制も万全です。さあ、みんなで楽しみましょう！



講師からのレクチャー

□参加者の感想（※原文をそのまま紹介）

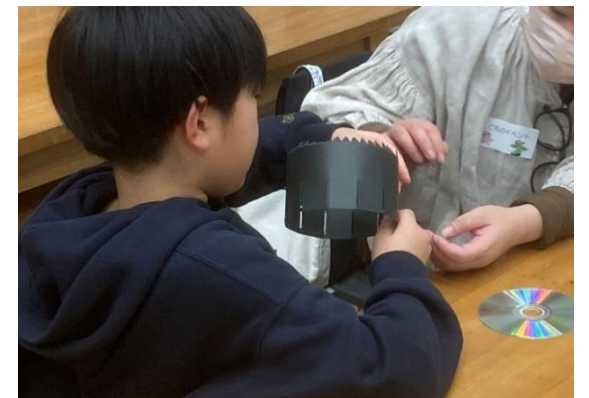
- ・自分のゾートロープを回して結果を見るのも、すごかったのしかったし、最後に他の人のも見れてすごくおもしろかったです。（小6）
- ・すきまから自分がかいた絵が、どんなふうに見えるかでワクワクした。もっと絵がスムーズに動くためにはどうすればいいか気になった。（小4）

- ・こどもだけでなく、大人も楽しめて、あっという間の2時間半でした。サポートの方も沢山いらして不自由なく参加できました。（保護者）
- ・こどもと一緒に相談しながら制作を見守ることができて楽しかったです。他の参加者の方の作品も見れて良かったです。（保護者）

■2 ゾートロープ装置作り

まずは、ゾートロープの装置を作ります。スリットの入った黒ボール紙を接着し円筒形にした後、CD、ビー玉を組み合わせ、両面テープとグルーガンを使用して、装置を完成させました。ビー玉を軸にくるくると回るこの装置。いったいどのように使うのでしょうか？

つぎに配布されたのは横長の用紙です。用紙には12のコマがあり、1コマ1コマ、連続写真のように少しずつ動きを変えて描いていきます。三木先生はさらさらと紙に絵を描き、装置の中にセットし回転させ、お手本を見せてくれました。外側のスリットから装置の中をのぞくと、人が上下に跳ねる様子が見え、参加者からは歓声が上がりました。



制作の様子



参加者が制作したゾートロープ

■3 絵を描いて動かしてみよう！

動物を走らせる、コインを回す、花を咲かせるなど、参加者は自分のアイデアをもとに、どのように描けば動きが表現できるのかを考えながら筆を進めました。絵が描けたら、紙を装置にセットしてゾートロープを回転させ、装置のスリットから中をのぞくと、、、さあ、思い通りに絵は動いたでしょうか!?「馬が走ってる！」と言う声や、「どうすればこうなるのかな〜？」と苦戦する声も。わからないことは三木先生に聞いてみよう！

最後は、完成した作品をみんなで鑑賞し合いました。お友達はどんな絵を描いたのだろう？どんなふう to 動くかな？

■4 相互鑑賞、ふりかえり

人が走ってハードルを飛ぶ様子、くるくる回る500円玉、食べられるゴースト(!?) など、たくさんの作品が完成しました。いつもはテレビやモニターで視聴できるアニメだけど、こうして作ってみると絵を動かしアニメーションを作るのは、大変な作業だと実感しました。

今回のイベントでは、自分の作品の紹介をした後、「あの子の鳥が飛ぶ作品がとてもよかったから、みんなに紹介したいです」と他の参加者の作品を推薦する声もありました。みんなで制作を共にするイベントならではの交流もあり、意見交換タイムも盛り上がりました。



相互鑑賞の様子

□講師からのコメント

日常に当たり前のようにあふれている映像も、なぜ動いて見えているのだろうかと考えてみることはあまりありません。今回のイベントでは「ゾートロープ」をつかって、絵が動く仕組みを理解しながら、映像表現のおどろきや、おもしろさを味わってほしいなと思いました。

自分で描いた絵が動く様子を見たり、他の人の作品を見ることで刺激を受けたりして、どんどん試行錯誤を重ねる姿が良かったです。この題材は大人もハマっちゃうと思うので、ご家庭でもたくさん作品をつくってください！（三木先生）